

結婚誘拐冤罪犠牲者即時釋放ノ要求

一 山本雪太郎、久本米一ノ兩氏ハ昭和八年六月三日高松地方裁判所デ結婚誘拐罪トイフ名ノ下ニ懲役ノ言渡シヲ受ケ現ニ高松刑務所デソノ執行ヲウケテキル。

ダガ高松地方裁判所デ山本、久本兩氏ニ懲役ヲ云ヒ渡シタ結婚誘拐罪ハ、何事ヲモ形式的ニ見テ事實ノ真相ニ目ヲツブリ、食フ米ノナイ農民ニモ借金ハ返セ、行クトコロノナイ労働者ニモ家賃カ拂ヘナカツタラ家屋ヲ明渡セトイフ判決ヲ叩キツケテ、コノ世ノスベテヲ觀念的ニ取扱フ法律ト、裁判ノ上デハ完全ニ解消サレテシマツテ、絶對ニ差別取扱ヒヲ許サレナイ「特殊部落ノ身分關係」ヲ打明ケナカツタトイフ時代錯亂ニヨリテ法律上罪トナラザル事實ヲ有罪トシタ誤判デアル。

二 然モンノ結婚ノ相手方タル石原政江女ハ眞摯ナル被告久本米一氏ノ結婚申込ニ人間の親愛ヲ感ジテ此レヲ承諾シタノダトイフテ

居ル。ニモ拘ラズ、警察、検事局、裁判所等司法當局ガ、殆ンド高壓的ニ「一般民石原政江女ガ特殊部落民久本米一ト結婚スル法ガアルガ」トイフ權暴デ、被告久本米一氏ガ所謂「特殊部落」ニ出生シ且ツ同所ニ生活スル事實ヲワザワザ女ニ指摘シテ「サウイフ身分ノ人ナラバ結婚シナイノデシタ」ト云ハセテ、山本、久本兩氏ヲ結婚誘拐罪ニデツテ上ゲタ事件デアル。

三 カクノ如キハ、所謂「特殊部落民」ノ差別徹底ヲ目的トスルト稱スル地方改善ノ融和運動ガ成ルベク「部落民ノ身分」ヲ隠蔽シテ、所謂「一般民」ノ間ニ散在シ、努メテソノ身分關係ヲ押シカクセト指導シテキル内務省ノ地方改善運動ト全然相背馳スル差別激成ノ不當ヲ極メタ咄々怪事デアル。

四 結婚誘拐罪ハ所謂被害者ノ告訴ニヨツテソノ罪ヲ論スル親告罪デアル。而シテ石原政江女ハ久本米一氏ト結婚ノ意志ガアツタモノデアリ、父親石原新太郎ノ勝手ニ提起シタ告訴狀ヲ自ら取り下